

## 資料4

### 5 . 情報交換

水災害リスクコミュニケーションポータルサイトについて

令和6年6月7日  
水管理・国土保全局  
水災害リスクコミュニケーション推進室

水災害リスクコミュニケーションポータルサイトを開設しました！  
～水災害リスクの減少・分散・回避に向けて～

国土交通省では、今般、主に民間企業や行政機関などが、自らの水災害リスクを確認し、平常時において主体的な減災行動を取ることができるよう、有益な情報を一元的に集約した「水災害リスクコミュニケーションポータルサイト」を開設しました。

今後、水災害リスクを軽減するための取組事例などの情報も充実させながら、水災害リスクコミュニケーションを推進して参ります。

＜水災害リスクコミュニケーションポータルサイト＞

<https://www.mlit.go.jp/river/risk/communication/index.html>

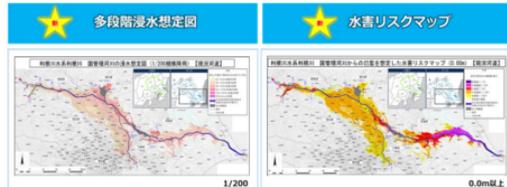
＜水災害リスクコミュニケーションポータルサイトの活用方法＞

○ ポータルサイトでは、知りたい事項ごとに情報の使い方を紹介しています（一例）。

- ・水災害リスク情報にはどのようなものがあるのかを知りたい
- ・【浸水】 浸水の範囲や深さが知りたい
- ・【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい
- ・【家屋倒壊】 氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれがある箇所を知りたい
- ・【土砂災害】 土砂災害の危険性・避難のタイミングを知りたい
- ・水災害のリスクと不動産情報

○ 例えば、【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい では、

水害リスクを踏まえた土地利用や住まい方の工夫の検討、企業の立地選択の検討などの目的として作成している多段階浸水想定図、水害リスクマップ（浸水頻度図）の見方や確認できるリスク情報を解説しています。



＜水災害リスクコミュニケーションとは＞

近年、気候変動の影響による水災害が激甚化・頻発化する中、平時からあらゆる関係者が水災害リスクに関する情報を共有し、意思疎通・相互理解を図ることにより、水災害リスクを減少・分散・回避するための行動を促すこと。

平常時から確認する必要がある洪水時のリスク

**水没** 建物や道路等が浸水してしまうリスク → **浸水の頻度**の情報を公開

**家屋倒壊** 建物等が倒壊してしまうリスク  
※土地ごと建物が流されたり、水の勢いで建物が流される場合があります。

**孤立** 一定期間、建物の周辺から水が引かずに逃げられなくなってしまうリスク  
※50cm以上の浸水が継続するリスク

- ▶ 水害リスク情報にどのようなものがあるのかを知りたい
- ▶ 【水没】 浸水の範囲や深さが知りたい
- ▶ 【浸水頻度】 浸水の頻度を知りたい
- ▶ 【家屋倒壊】 氾濫時に家屋の流出や倒壊のおそれのある箇所を知りたい
- ▶ 【孤立】 浸水してから水が引くまでにかかる時間を知りたい
- ▶ 地点別・時間別の詳しい浸水情報が知りたい
- ▶ 土地の成り立ちから潜在的な危険性を知りたい
- ▶ 洪水浸水想定区域図のデータ活用事例
- ▶ 水災害のリスクと不動産情報

※水災害リスクコミュニケーションポータルサイト



※浸水ナビ

さまざまな水害リスク情報

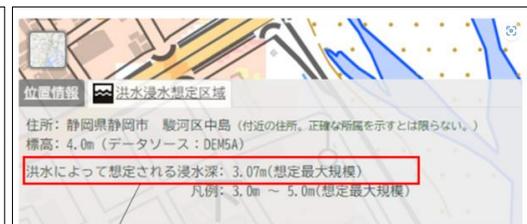
浸水リスクを考慮しより安全・安心な社会に

国土交通省水管理・国土保全局  
河川環境課水防企画室

- まちづくりに
- 企業の水害対策に
- 学校の施設の水害対策に
- 住まい方の工夫に

- 点別
- 高精度 (1/10)
- 中高精度 (1/20)
- 中精度 (1/50)
- 中低精度 (1/100)
- 想定最大規模
- 市町村界
- 管区界

※さまざまな水害リスク情報(R6.3)



7: 洪水によって、具体的な想定される浸水深が確認できる。

※現在、浸水想定区域内となっていない箇所でも、まだ区域指定されていない空白域である可能性があります。令和7年度までに一級・二級河川の洪水浸水想定区域の完了を、下水道の雨水出水浸水想定区域は8割完了を目指しています。口周部より標高の低い地区では、過去の浸水実績や地形条件から浸水の危険性を確認しましょう。

※重ねるハザードマップ

デジタルマイタイムラインについて

# 「デジタル・マイ・タイムライン」について

## ■ 「デジタル・マイ・タイムライン」とは

- 「マイ・タイムライン」は、水害・土砂災害等に備えて、「いつ」・「何をするのか」をあらかじめ整理した自分自身の避難行動計画です。
- 「デジタル・マイ・タイムライン」は、デジタル技術を活用し、「マイ・タイムライン」の取組をさらに推進させる取組です。

## デジタル・マイ・タイムライン

### 従来のマイ・タイムラインの取組

- 講習会・ワークショップを開催しアイデアを出し合いながら作成
- 地域の助け合いが進む



- ハザードマップから自宅の浸水深等のハザードを確認



- 作成したマイタイムラインを目につきやすい場所に保管



デジタル技術の融合

### デジタル技術を活用した取組

- スマートフォンを使って好きな時間・場所で「マイ・タイムライン」を作成できる



- 住所を入力するだけで、簡単にハザードを確認できる



- スマートフォンに登録・保存できいつでも確認・更新できる
- 予め自分が設定したタイミングでプッシュ通知が届く



## ■「デジタル・マイ・タイムライン」の普及について

- 「デジタル・マイ・タイムライン」の普及にあたり、全国のモデル地区でワークショップを開催しています（令和3年度は4地区で実施）。
- ワークショップでは、防災アプリを用いたマイ・タイムラインの作成体験を行い、課題等を整理しています。

### 【アンケート結果概要】

- ・参加者の約8割以上が「デジタル・マイ・タイムラインは役に立つ」と回答
- ・有効と思った機能で回答が多いものは以下
  - ①スマホでマイ・タイムラインを作成・保存できる機能
  - ②ハザードを確認できる機能
  - ③行動開始のタイミングを知らせる機能



モデル地区でのワークショップの例  
(2021年11月茨城県常総市)

## ■防災アプリについて

- 「デジタル・マイ・タイムライン」の取組では、民間企業の防災アプリを使用します。
- 普段使っているスマートフォンやタブレットを使って、簡単に入力・更新することができます。

### 【防災アプリの例（Yahoo!／防災タイムライン）】



Yahoo!防災速報  
アプリに  
含まれる機能

平時に  
防災タイムライン  
を作成



災害時は  
プッシュ通知が  
届く

子ども防災学習について

いのちとくらしをまもる  
防災減災令和6年4月25日  
水管理・国土保全局 防災課

## 子ども向けの防災学習ポータルサイトを新たに公開 ～防災教育ポータルをリニューアル！～

国土交通省のウェブサイト上で防災教育に役立つ情報・コンテンツを提供している「防災教育ポータル」を4月26日にリニューアルします。

今回のリニューアルにより、

- ・子ども向けページを新たに作成し、「防災学習ポータルサイト」として公開
  - ※「防災教育ポータル」も教員向けサイトとして継続
- ・ユーザーインターフェースの改良により教材の見やすさ改善、検索の利便性向上
- ・全国各地の災害に関する写真・動画を追加

等を実施しており、見やすさ、使いやすさを向上させています。

### 【防災教育ポータル】

理科、社会、総合的な学習の時間等の授業において児童・生徒が防災を学ぶことができる素材を掲載している「防災教育ポータル」を平成30年3月より公開しています。このポータルサイトでは、各教科の学習内容に対応した子ども向け動画をはじめ、子ども達が楽しみながら防災行動を学べるカードゲーム、水害等の避難訓練や防災教育を実施する際のポイントを示したガイドブック等を掲載し、学校や地域における防災教育を支援しています。



サイト QR コード

### 【主なリニューアル内容】

#### ①子ども向けページを新たに作成し、「防災学習ポータルサイト」として公開

※アプリ等へのリンク掲載を希望する民間事業者等におかれては、水管理・国土保全局防災課までご連絡ください。

- ・ワンクリックで切り替え可能な「防災教育ポータル」も教員向けサイトとして継続
- ・子どもが自発的に調べ、自ら学習することができるよう、教材・素材の紹介文を分かりやすく記載

#### ②ユーザーインターフェースの改良により教材の見やすさ改善、検索の利便性向上

- ・動画を短い時間に分割し、活用しやすいページに再編
- ・教材、素材の検索の利便性向上

#### ③全国各地の災害に関する写真・動画を追加

- ・地域における災害に関する写真・動画を追加し、地域ごとに検索できるように掲載
- ・今後も写真・動画を随時追加していく予定

### 【問合せ先】

水管理・国土保全局 防災課 宮下（内線35722）、工藤（内線35836）  
電話 代表:03-5253-8111、直通:03-5253-8438

# 防災教育ポータルサイトの主なリニューアル内容①

国土交通省のホームページで公開している、児童・生徒が防災を学ぶことができる素材を掲載している「防災教育ポータル」をリニューアルし、以下の改良を実施

- 子ども向けページを新たに作成し、「防災学習ポータルサイト」として公開
- ユーザーインターフェースの改良により教材の見やすさ改善、検索の利便性向上
- 全国各地の災害に関する写真・動画を追加



サイトQRコード

## 子ども向けページの作成

- ワンクリックで切り替え可能な「防災教育ポータル」も教員向けサイトとして継続
- 子どもが自発的に調べ、自ら学習することができるよう、教材・素材の紹介文を分かりやすく記載



子ども向けページ(左上)と教員向けページ(右下)



子ども向けページ  
分かりやすい紹介文  
「流れる水の働きと土地の変化について学ぼう」

## ユーザーインターフェースの改良により教材の見やすさ改善、検索の利便性向上

- 動画を短い時間に分割し、活用しやすいページに再編
- 教材、素材の検索の利便性向上

【現行】

小学生向け動画  
「小学校5年理科 流れる水の働きと土地の変化」



【現行】約8分の動画

- ・動画が長い
- ・要点を整理するのが負担

【改良後】



【改良後】4分割の短時間動画

- ・テーマごとに分かれておりわかりやすい
- ・教材として活用しやすい

# 防災教育ポータルサイトの主なリニューアル内容③

## 全国各地の災害に関する写真・動画を追加

- 地域における災害に関する写真・動画を追加し、地域ごとに検索できるように掲載
- 今後も、写真・動画を随時追加していく予定



【現行】



【改良後】

ワンコインセンサーについて

## あなたの地域の浸水を察知し迅速な行動へ ～ワンコイン浸水センサ実証実験の新規参加者を募集します～

浸水の危険性がある地域に手頃な価格の小型センサを設置し、リアルタイムに浸水の有無を把握することが可能となりつつあります。

このセンサの実証実験を、より有効に行うためには、様々な地域や場所で設置する必要があります。このため、引き続き実証を行うこととし、新たに参加する自治体や企業・団体等を募集します。

### ○実証実験の目的

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、浸水の状況を迅速に把握し、災害対応を行うことが重要となっております。そのため、センサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握し防災行動に繋げる仕組みの構築に向けて、国や自治体、民間企業等の様々な関係者が協力して、センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものです。

※これまでの実証実験概要等は以下WEBサイトに掲載しています。

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

### ○公募内容

#### (1) 対象者

- ①実証実験実施地区となる自治体（市区町村）
  - ②浸水センサを自ら設置・管理できる企業・団体等（都道府県含む）
- ※詳細は、別添公募実施要領をご覧ください。

#### (2) 公募期間

- ①、②共通：令和6年12月24日（火）  
～令和7年2月28日（金）17時まで

#### (3) 公募説明会の開催について

- 1) 開催日時：令和7年1月17日（金）14：00～
  - 2) 開催方法：WEB会議（Microsoft Teamsによるオンライン開催）
  - 3) 参加申込：別添公募実施要領 5.に従い、メールで申し込みください。  
（締切：令和7年1月15日（水）17：00まで）
- ※報道関係者等の傍聴も可能です。

### 【問合せ先】

水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室  
企画専門官 成島(内線 35392)、係長 香川(内線 35394)  
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446

# ワンコイン浸水センサ実証実験の概要

## ポンプ設置のタイミングや通行可否の判断に 浸水センサを活用



実証実験参加自治体：秋田県秋田市  
(令和6年7月9日 浸水状況)



実証実験参加自治体：埼玉県戸田市  
(令和6年7月31日豪雨 浸水状況)

浸水発生時の迅速な判断・情報発信に役立つ  
**ワンコイン浸水センサ実証実験**  
～ 官民連携による流域の浸水状況把握 ～

POINT!

浸水情報をリアルタイムにホームページで公開しています。

国土交通省HP ワンコイン浸水センサ実証実験

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>



# 官民連携で浸水状況をリアルタイムで把握する仕組みを作っています

国・自治体・企業・大学など、流域内のあらゆる関係者が参加して実証実験を実施中！

## 官民連携による浸水域把握（活用のイメージ）



### ワンコイン浸水センサ

小型、低コストかつ長寿命で、流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



- ・小型
- ・低コスト
- ・長寿命

実証実験に用いている浸水センサ

### リアルタイムの浸水状況表示システム

各センサの情報を一元的に収集し、浸水状況を共有するシステム



浸水センサ表示システムのイメージ（広域&拡大）

## ワンコイン浸水センサ実証実験参加者の声



A自治体

浸水センサを活用することで、浸水範囲や浸水深を早期に把握することが可能となるため、避難情報発令及び通行規制の判断や面的な被害状況の把握に繋げたい。

急な浸水や内水氾濫をいち早く把握することで管理施設の被害防止・軽減、早期復旧に活用したい。



B企業

お問い合わせ先

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室  
ワンコイン浸水センサ 担当  
E-Mail : hqt-immersion-sensor@gxb.mlit.go.jp

# 河道内樹木の活用について

かどうないじゅもく

# 河道内樹木を

# 活用しませんか？

北海道開発局・北海道  
からのお知らせ！

無償

## 河道内樹木って？

河川の流水が流れる部分に生息している樹木です。日常の河川パトロールの支障になったり、川が増水した時の水の流れを阻害したりすることから、河川管理者が定期的に伐採しています。



## 河道内樹木を活用したい！

北海道開発局および北海道では、河川管理において発生した河道内樹木を公募により、無償提供しております。公募型樹木採取※には以下の2ケースがあります。

ケース1

応募者が河道内樹木を自ら伐採し、採取

ケース2

河川管理者により伐採した樹木を提供

POINT

### ケース1



伐採



現地での破碎状況

### ケース2



伐採



伐採木の集積状況

※河川内の樹木を資源として有効に利用する観点から、採取した樹木をバイオマス燃料や製品の原料などとして活用していただける企業や住民を広く募集し、一定の条件を満たす方に採取を許可する「公募型樹木等採取」を試行しています。

お問合せ・お申込みはこちらから

## 木材バンク

**対象者** 自治体・バイオマス事業者・一般企業・一般利用者

**利用方法** 木材バンク登録情報に掲載されている伐採木を利用したい場合は、QRコードの登録情報より「木材バンクデータ(XLSX)」記載の連絡先(木材バンク担当)へ、お問い合わせ・申し込みをお願いいたします。

## 問合せ先

- (1) 北海道開発局 事業振興部 技術管理課 リサイクル担当 / TEL:011-709-2311(内線 5758) FAX:011-708-4532
- (2) 北海道開発局 建設部 河川管理課 開発専門官 / TEL:011-709-2311(内線 5972)
- (3) 北海道 建設部 維持管理 防災課 治水維持係 / TEL:011-231-4111(内線 29-345)
- (4) 北海道 建設部 維持管理 防災課 河川管理係 / TEL:011-231-4111(内線 29-303)

木材バンク  
登録情報はコチラ▶





## 河道内樹木の品質について

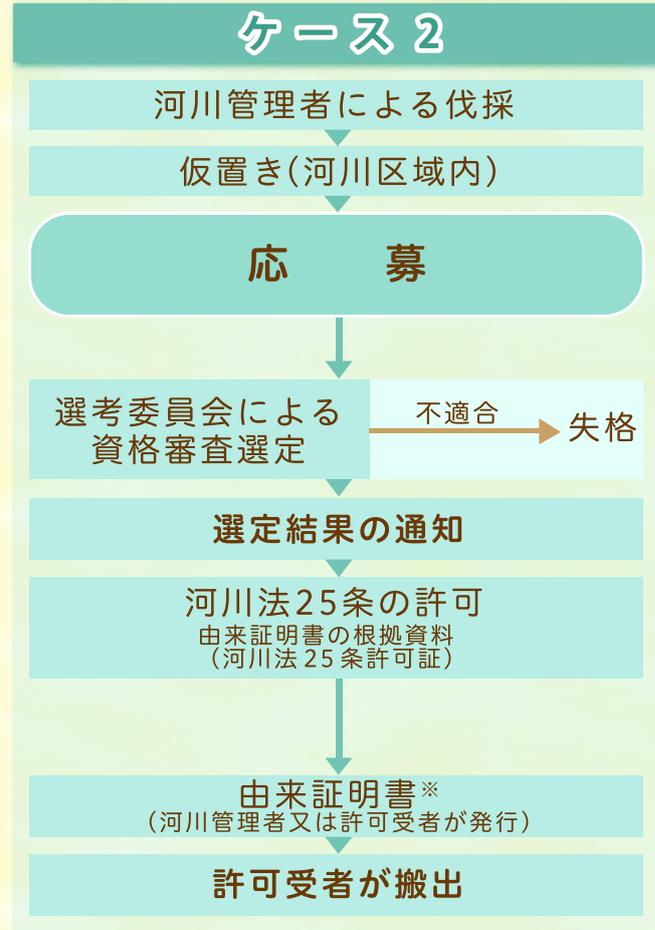
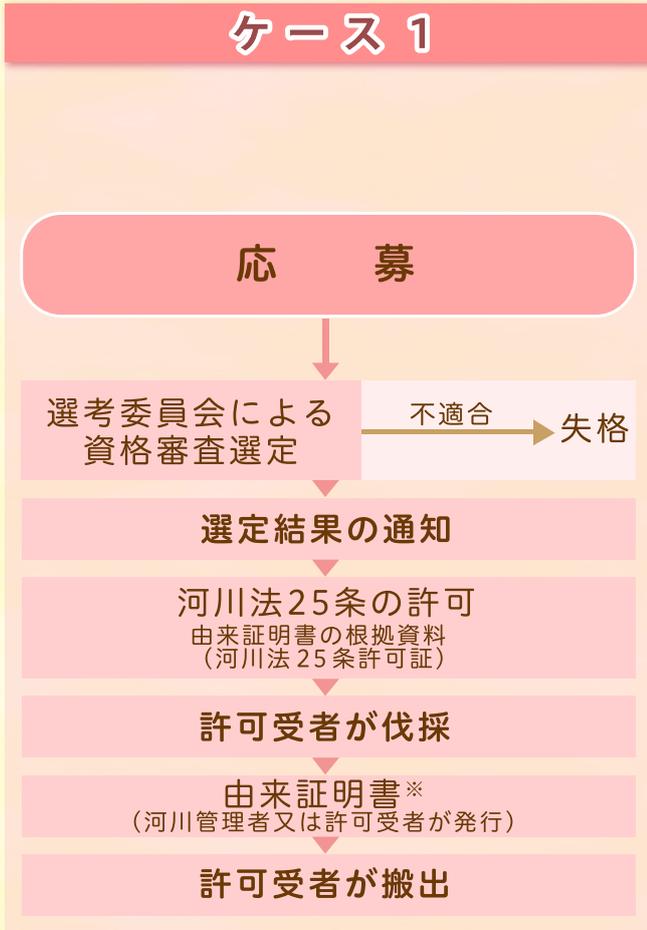


### 河道内樹木を燃料用チップにして成分分析調査を行った結果

原 料	チップ寸法	水分(wt%)	灰分(wt%気乾)	N・S・Cl(wt%・dry)	重金属(mg/kg/dry)
河道内樹木	4mm未満(微細部):1% 4-26mm(主要部):97% 26-45mm(粗大部):2% 最大長 142mm	33.5%	0.5%	N:0.29% S:<0.01% Cl:0.02%	As<0.1, Cd<0.1, Cr=1, Cu=11, Pb<1, Hg<0.01, Zn<10



## 公募採取の手続きフロー



※認定事業者の場合：由来証明書の発行は許可受者  
認定事業者外の場合：由来証明書の発行は河川管理者

## 利用モデル

01 発電燃料として営利利用



出典：王子グリーンエナジー江別(株) 発電所ハンフレット

02 暖房用として一般利用



03 敷料として農業利用

